



未来ラボ！祭×SDGs | アジアの微笑み

日本の祭に学ぶ包摂性と文化的レジリエンス

～祭は感謝と励まし、そして希望の種子～

I) プロジェクト誕生の背景

2005年 Dance is universal language | Dialogue begins when we dance together をテーマに設立。

2022年、風流踊り41演目がユネスコ無形文化遺産に登録され、その登録理由として「社会的機能」「文化的レジリエンス」が評価されたことに深く感銘を受け、祭り文化が持つ開放性・包摂性・持続性等の価値観を社会づくりに活かしたいとの思いで動を続けています。

2023年には、コロナ禍で失われた「つながり」の再構築を目的として、「文化の力で再び人をつなぎたい」との思いから、阿波踊りを軸とした多文化交流チーム「アジア連」を設立しました。

当初は外国人参加者の呼びかけに苦戦し、初回の参加者は3か国5名でしたが、活動を続ける中で、駐日大使館の広報を担う舞踊手とのつながりが広がり、現在は13か国・延べ300名のネットワークへと発展しました。(2026.5 現在)

こうした経験から、「誰もが参加できる祭文化」＝包摂性・協働・文化的レジリエンス という価値を教育・地域・国際交流に活かすため、本プロジェクト「未来ラボ！祭×SDGs」「アジアの微笑み」が誕生しました

II) プログラム概要

- ・所要時間: 60～90分(応相談)
- ・構成:
 - 座学(20分)
 - 阿波踊り体験(50分)
 - 対話・「明日からの小さな一歩」(20分)
- ・対象: 中高生・大学生・留学生・自治体職員・一般市民
- ・オプション: 文化対話プログラム「アジアの微笑み」(30分)

III) 講座のねらい

日本の祭文化に込められた「祈り」「協力」「分かち合い」の精神を学び、現代社会に必要な包摂性(No One Left Behind)と文化的レジリエンスを体験的に理解する。

IV) 講座内容(座学)

祭文化は「誰もが参加できる」包摂性の象徴
掛け声・振り付けに見られる 協働・共創の精神
「分かち合い」は

- ・近江商人の三方よし
- ・富山の薬売り など、日本の経済哲学の基盤にも通じる
- ・盆踊りが世界に広がる背景：革新性・開放性・地域を支える文化的レジリエンス
- ・日本の祭文化は世界に類を見ない独自の伝統文化

V)SDGs との関連



- 04 質の高い教育
- 05 ジェンダー平等
- 10 不平等の是正
- 11 住み続けられるまちづくり
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナーシップ

VI)対話と振り返り(20分)

- 体験後の感想共有
- 質疑応答
- 学びの言語化
- 異文化理解・協働の視点を深める

VII)実施体制・費用

- 講師：座学＋実技の2名体制
- 基本料金：70,000円(税別)
- 別途：交通費・資料代
- ご予算・開催形態に応じて柔軟に対応可能

VIII)国際的評価

- ・本プログラムは日本で初めて“Music in Peacebuilding Hub Directory”に登録されています。

X)実施団体 民族舞踊住団 NIPPON

〒170-0002 東京都豊島区
info@nicenippon.biz

団体公式 Site



体験動画

